

地域ケア会議

～会議でみえてきた課題について～



蓮田市はすぴい

蓮田市地域包括ケア推進代表者会議
令和7年度第1回 令和7年7月22日

《蓮田市 健康福祉部 長寿支援課》

地域包括ケアシステムを構築するための具体的な取り組み

- 地域包括ケア実現のため、介護保険制度の地域支援事業を活用し、以下の取組を充実・強化。
○これらを市町村が中心となって総合的に取り組むことで、地域で高齢者を支える社会が実現。

医療・介護連携

・連携強化

関係者に対する研修等を通じて、医療と介護の濃密なネットワークが構築され、効率的、効果的できめ細かなサービスの提供が実現

認知症施策

・施策の推進

初期集中支援チームの関与による認知症の早期診断、早期対応や地域支援推進員による相談対応等により認知症でも生活できる地域を実現

地域ケア会議

・制度化による強化

多職種連携、地域のニーズや社会資源を的確に把握可能になり、地域課題への取組が推進され、高齢者が地域で生活しやすい環境を実現

生活支援

・基盤整備等

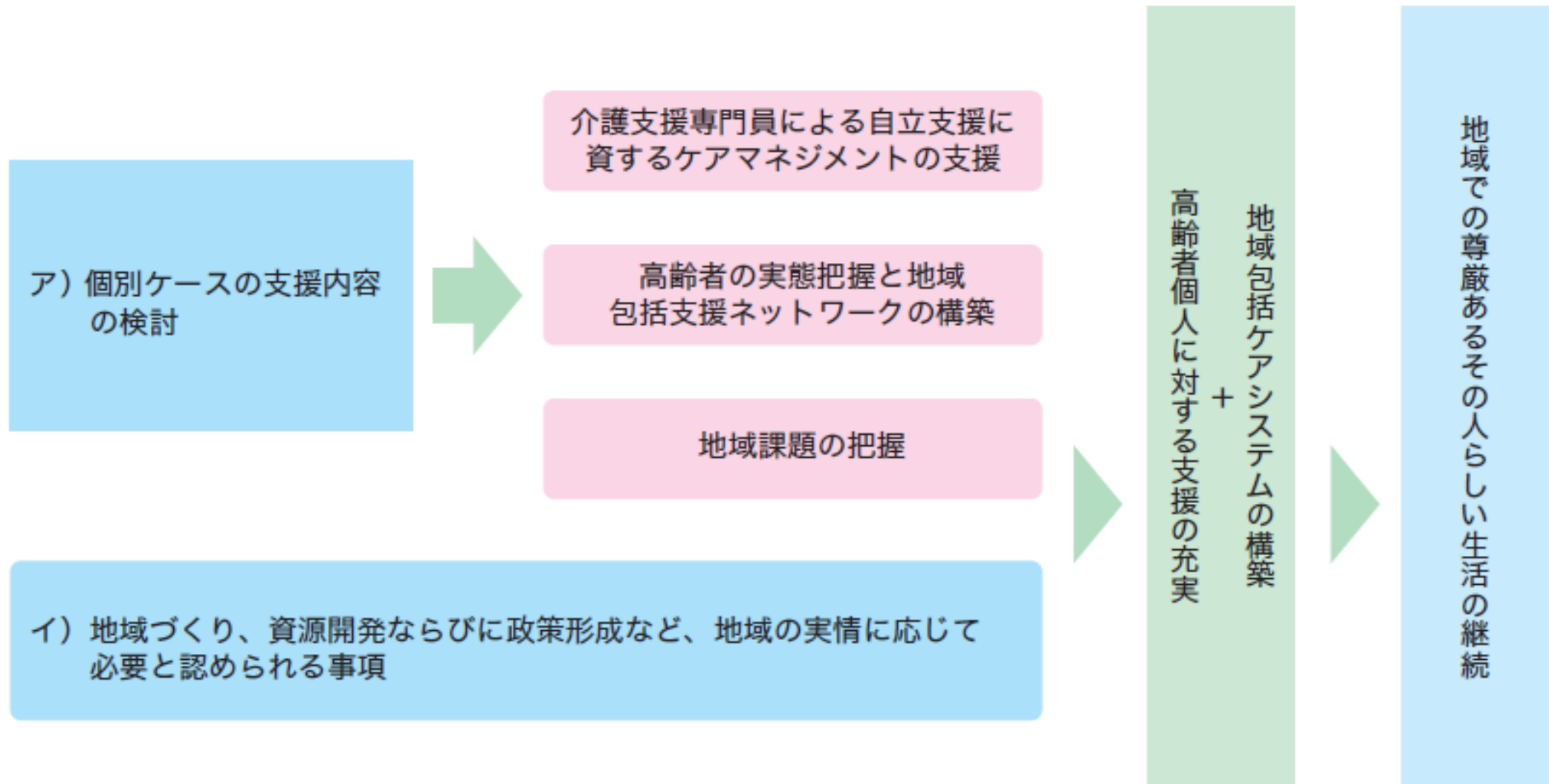
コーディネーターの配置等を通じて地域で高齢者のニーズとボランティア等のマッチングを行うことにより、生活支援の充実を実現

介護予防

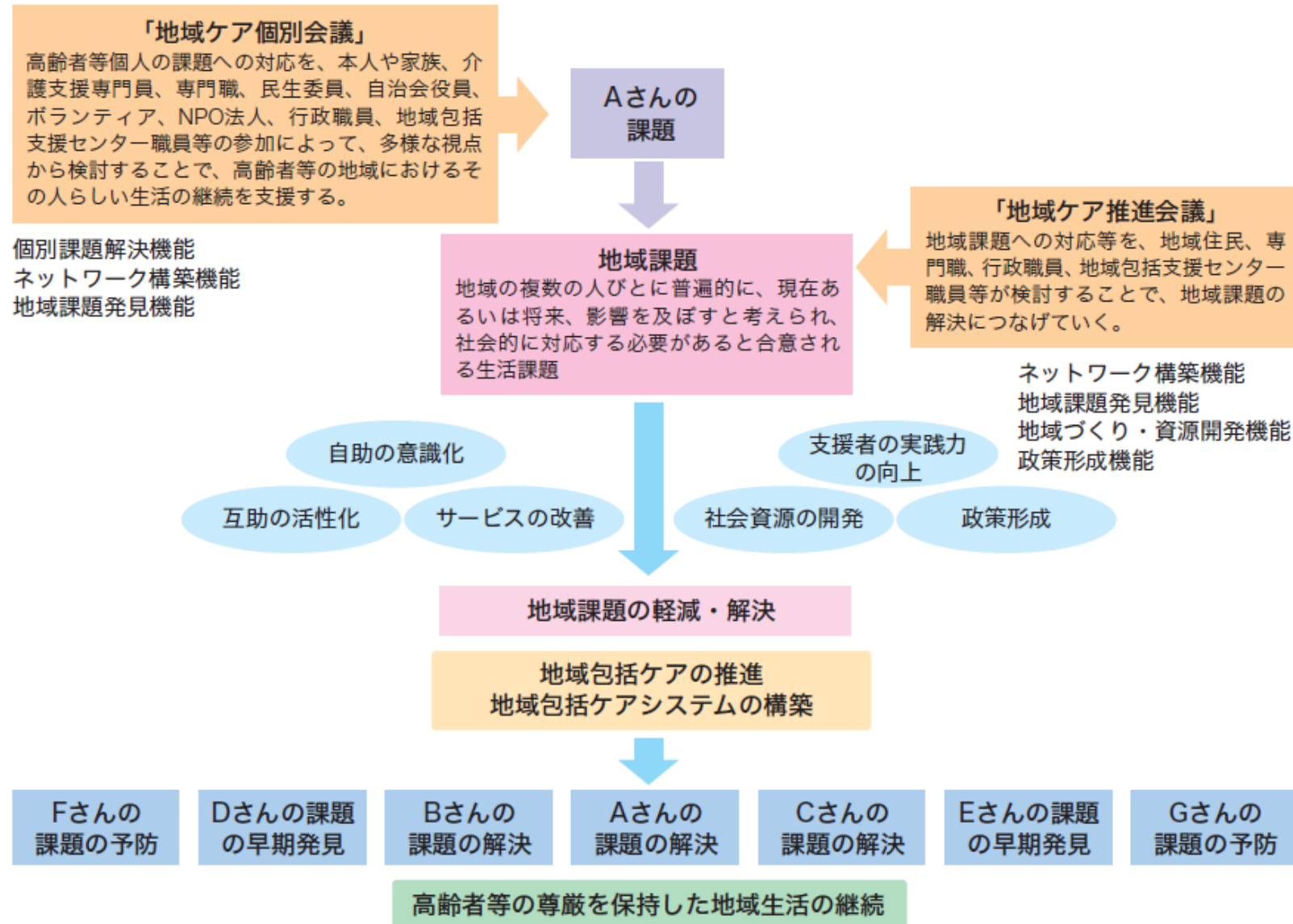
・効果的な取組の推進

多様な参加の場づくりとリハビリ専門職等を活かすことにより、高齢者が生きがい・役割をもって生活できるような地域を実現

地域ケア会議の目的



「地域ケア個別会議」と「地域ケア推進会議」の連動による地域包括ケアの推進



蓮田市の地域ケア会議

○地域包括支援センターまたは市町村が主催・運営し、
多職種で構成される地域包括ケアシステム実現に向けた会議

○地域課題の検討（課題抽出型地域ケア会議）

- ・市内5地区の民生委員・児童委員協議会担当地区ごとの地域の課題を抽出し、必要な社会資源の開発や支援体制の構築を目指す。

○個別ケースの検討（自立支援型地域ケア会議）

- ・総合事業対象者、要支援・要介護者のサービス利用者が、有する能力を最大限に生かしながら、その人らしい生活続けるためのケアマネジメントを支援。

課題抽出型地域ケア会議における 地域課題の抽出について

○8～9月の地区定例会の日程で開催

○開催地区 5地区 1回ずつ開催

○参加者

- ・各地区の民生委員・児童委員/介護支援専門員
/生活支援コーディネーター/市関係部署(健康増進課)

○目的

高齢者への支援に係る地域の課題を共有・検討



課題抽出型地域ケア会議における 地域課題の抽出について

地域ケア会議(課題抽出型)開催状況

第1地区:蓮田 御前橋1丁目 東(久台該当地区を除く) 末広1丁目
馬込 駅前団地 ビューパレー

第2地区:御前橋2丁目 見沼町 関山 山ノ内 久台(東1・2丁目)
本町 末広2丁目 上 綾瀬 県営住宅

第3地区:笹山 黒浜 藤ノ木 江ヶ崎 川島 緑町 桜台

第4地区:城 西城 椿山 西新宿 南新宿 宿

第5地区:閏戸 貝塚 根金 井沼 上平野 駒崎 高虫



課題抽出型地域ケア会議から抽出された地域課題

(第1・2地区)

- 詐欺被害の観点から、民生委員が訪問や電話をしても対応してもらえない。
- 住民の入れ替わりが激しく、住居の把握ができない。
- 8050のケースが増えている。キーパーソンがいないため困っている。
- 外国人の方がゴミ出しのルールを守らず困っている。



⇒包括としての取り組み

- 外国語(5か国語)の収集日程表紹介(衛生組合のHPに掲載)
- 民生委員と包括職員の同行訪問の実施
- 顔見知りを増やしていけるような関わり

課題抽出型地域ケア会議から抽出された地域課題

(第3・4地区)

- 車がなく、移動が大変で買い物が困難。
- 認知症を隠している家庭もあるため、支援に入れない。
- 必要な情報を得ることが難しく、情報弱者になっている。
- 関わりに後ろ向きなカタが多く、どこまで介入したよいか。
- 自治会と民生委員それぞれ見守り隊をしているが負担が大きくなっている。



⇒包括としての取り組み

- 認知症のかたを支える地域づくりに向けての講話と声かけ実践
- 地区見守り隊へ包括について説明と今後の連携
- 地区協議体にてスマホサロンの計画

課題抽出型地域ケア会議から抽出された地域課題

(第5地区)

- 自治会のイベントなどの発起人不足
- 民生委員の役割について理解が得られていない
- 自治会未加入者に情報が伝わりにくい



⇒包括としての取り組み

- 自分でできる範囲での手助けなどを行っていきたいと考えている住民と一緒に活動
- センター便りに民生委員との特集を組み、配布先を広げる

自立支援型地域ケア会議における 地域課題の抽出について

○地域ケア会議(自立支援型)開催状況

各包括圏域3回 年間9回

会議1回につき、3事例を検討。そのうち1事例は、過去に検討した事例の評価を行う。

○参加者

事例提出者(居宅介護支援事業者 居宅介護サービス事業者 等)

助言者(薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士 等)

※事例に応じて、歯科医師や看護師、司法書士など、必要な助言者を配置。

生活支援コーディネーター/市関係部署(長寿支援課 福祉課 等)

なお、介護保険事業者等、医療・介護関係者は傍聴が可能

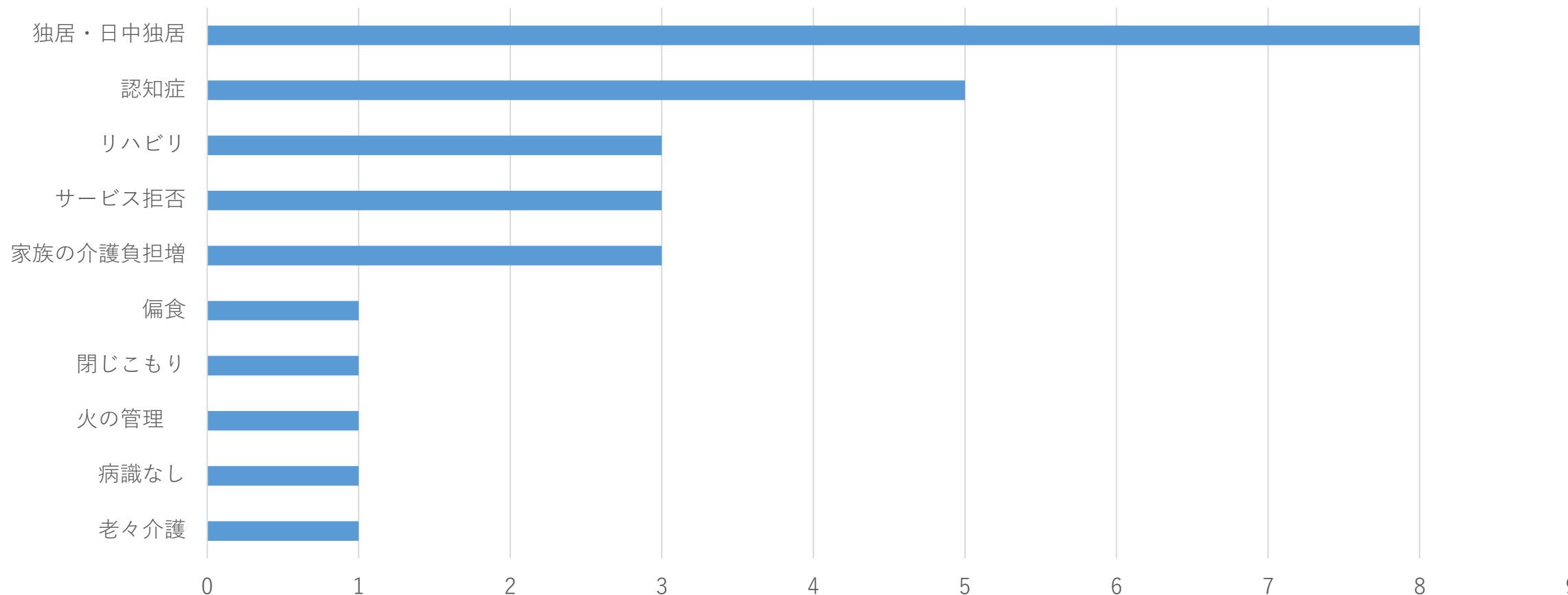
自立支援型の地域ケア会議事例

圏域	開催月	タイトル	年齢	介護度
黒浜	6	独居男性。認知症の進行あるが、通院したがない。物とられ妄想強い。	86	要介護3
	6	閉じこもりがちな利用者様への支援	76	要介護1
	7	健康を守る食事	90	要介護1
	7	孤独を訴える独居女性への支援	82	要支援2
	8	寝たり起きたりの生活で自宅に閉じこもりの独居男性の支援	61	要支援1
	8	100歳まで生きること目標としている女性への今後の支援について	93	要支援1
閏・平	9	徘徊リスクのある、日中独居女性への支援	75	要介護2
	9	認知症のある夫を介護する妻や長女のストレスを軽減し在宅生活を続けるには	80	要介護2
	10	自分で努力を続ける生活	87	要支援2
	10	病状の進行が受け入れられない方への支援	79	要支援2
	11	体重100kgを超える寝たきり精神疾患がある人の在宅	57	要介護3
	11	交流の少ない高齢者が自宅で最後まで暮らすには	91	要支援2
蓮田	12	視力低下があり転倒を繰り返している夫婦の支援と8050問題	81	事業対象
	12	体力低下と動作困難により、デイ利用が難しい方への支援	84	要介護2
	1	右膝痛のある独居女性への支援、食事の偏りあり	91	要支援2
	1	頭痛を訴える独居男性への支援	82	要支援2
	2	腰痛悪化により体動困難で閉じこもりとなり、社会交流がない方への支援	107	要介護3
	2	高齢になっても意欲ある生活を送るには	99	要介護1

自立支援型地域ケア会議での課題(全体)

1事例複数課題あり

課題



自立支援型地域ケア会議からみえてきた課題

- ・事例から介護度の高いかた、年齢の高いかたが多かった
- ・独居や日中独居となっているケースが約半数であった
- ・認知症のかたがケースとしても多い



- ⇒・自立支援の検討へつなげていきたい
 - ・独居の方に対する近隣における支援の必要性
 - 民生委員、見守り支援ネットワーク、地区協議体等
 - ・認知症のかたを支える地域づくり→チームオレンジ

ご意見をいただきたいこと

○今後の方針

- ・会議を通じて、各圏域での地区特性に応じた対応の検討を継続する。また、各圏域の特徴を踏まえつつ、市全体の課題についても検討をおこなう。
- ・自立支援にむけたケース検討も行っていけるよう提供事例の選出を依頼していく。

○ご意見いただきたいこと

- ・市の今後の方針について、各お立場からご意見をお願いいたします。

